



小林 立栄 議員

一問一答方式

予算等審査 特別委員会



予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長多田勲議員、副委員長照井文雄議員）は、条例2件、予算7件、その他2件について付託を受け、審議を行いました。
今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑を交わしました。その結果、全11議案を原案のとおり可決しました。

行政手続きの 利便性の向上へ

問 押印の見直しの内容は。
答 医療費給付申請書など行政事務1143件の様式を見直し、慣行的な押印の求めを廃止する。実印や金融機関に届け出る書類等は、引き続き押印が必要。
多面的機能支払交付金など、国が様式を定めているものは、方針が示され次第、各団体に

お知らせする。

問 起案や復命など庁内の文書も、電子決裁を進めるべきでは。
答 一部の庁内文書は電子決裁で行っている。メリットとデメリットを総合的に検討して進めたい。
問 手続きの簡略化で、住民の利便性向上を。
答 押印廃止は、行政手続きのオンライン化（自分のパソコンやスマホで手続きができる等）を進めていく上での一歩となる。

小友小学校改修工事 の変更は

問 変更の内容は。

答 6月議会で校舎改修設計の議決を得たが、屋内運動場の改修設計を優先したい。

問 屋内運動場を優先する理由は。

答 校舎については、今年度学校公開があることに加え、より条件の良い国の補助金を活用するため先延ばしし、屋内運動場の改修を先に取り組むこととした。

問 校舎の改修工事を先延ばしにすることで安全面に問題は。

答 改修工事と同時に修繕を計画している箇所は、後に回さず修繕する。

豪雨災害からの復旧

問 災害復旧費の内容は。

答 本年6、7月に発生した集中豪雨による災害の復旧費用。



7月豪雨 大工町の歩道の様子

問 今後も同様な雨量が発生する可能性は。

答 7月豪雨は観測史上初の時間雨量50mmの雨量があった。頻繁に発生するかは予想がつかないが、発生する可能性があると認識している。

問 災害からの復旧は必ず必要だが、水害を起さないまちづくりの考えは。

答 現在の水路等の基準は不足していると認識している。現在の施設を有効に使いながら

どの部分を強化すればいいかを判断していく。

問 排水対策について、公助でできることと自助でできることがある。他の自治体では、止水板を設置するなど自助の取り組みに助成している。関係部署で協議をしているのか。

答 今のところ建設課のみで対応している。自助でできることは自助でということを検討しながらしっかりと

応していく。

問 大工町の木の歩道が流された。通常時でも滑ったりして怪我人も出ていると聞く。根本的に見直す考えは。

答 豪雨の際に歩道が危険になるのは今回で認識した。住民の安全を確保することが重要。現在見直しに向けて検討を行っている。

感染症に負けない遠野へ

市長 正しく知り、正しく恐れ、正しく対策を講じることが基本

問 不安や恐れ、嫌悪、偏見、差別を含めて感染症である。感染症の本質と対処法を知り「正しく恐れる」ことが重要では。

答 (市長).....

憎むべきはウイルスであり、差別や誹謗中傷があつてはならない。思いやりの心を持ち、冷静に行動できるように、適切な情報発信に努めたい。日本赤十字社が作成した啓発用資料の活用についても

検討する。

問 陽性者や濃厚接触者、その家族が安心して生活できるように、食料や日用品等の買い物支援等、きめ細かい支援が必要では。

答 (市長).....

相談窓口を設置し関係機関・団体と連携して対応している。対象者の状況が把握できた場合は、ケースに応じた支援策を検討し、安心安全な生活が維持で

きるよう対応している。

問 「メンタルヘルス・ファーストエイド」に基づいた心のケアの推進を。

答 (市長).....

身近な相談役として「傾聴ボランティア」や「ゲートキーパー」、地域づくりやボランティアの各団体にも役割を担っていただいている。連携・協力体制を一層密にして、心の健康に問題を抱える人が、地域でより気軽に相談できる環境を、充実・強化したい。

問 心の健康状態をパソコンやスマホでチェックできる取り組みが必

要では。

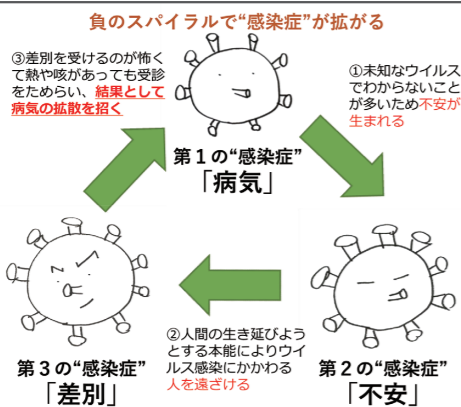
答 (市長).....

専門家や関係機関・団体の意見を伺いながら、適時適切に対応したい。

※メンタルヘルス・ファーストエイド

心の病に対する応急処置や初期対応を身近な人が取り組める支援プログラム

3つの“感染症”は どうつながっているの？



参考：日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知らう」負のスパイラルを断ち切るまで

ICTを活用した学び。変化の兆しと手応えは。

教育長 「主体的な学習」「探究的な活動」を一層推進できるツールであると感じている

問 教育現場のアイデアや考えを形にしていることが大事。活用方法の創出と共有は。

答 (教育長).....

本年度の成果と課題を明らかにして共有化を図り、次年度以降の改善につなげたい。

問 目の健康への配慮

は。

答 (教育長).....

使用時間のコントロールが大切。家庭と連携して取り組む必要がある。

